



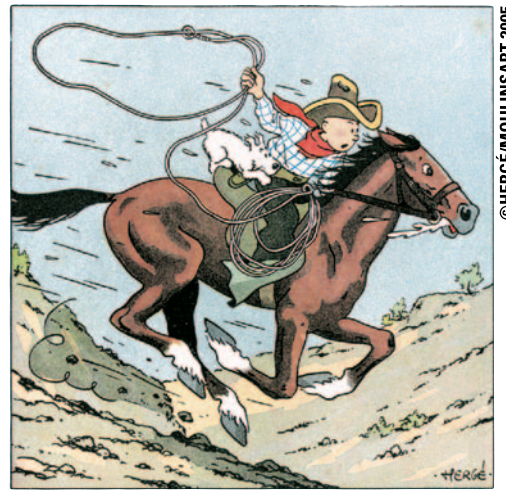
LES AVENTURES DE TINTIN

「タンタンの冒険」展

くるっとはねた前髪とニックボッカがトレードマークの少年リポーター・タンタンは、1929年にベルギーの元新聞記者エルジェ（1907～1983 本名ジョルジュ・レミ）が子供向け新聞「プチ・ヴァンティエム」に連載した冒険物語の中で誕生しました。物語ではナイーブな感じの少年が、相棒の白いフォックステリア・スノーウィと一緒に世界中を駆け巡り、ひいては海底からなんと月世界までも舞台にしながら、数々の事件に巻き込まれ、知恵と勇気でそれを解決してしまいます。これは当時としてはたいへん斬新な設定で、たちまちヨーロッパを代表する超人気コミックとなりました。平明なくっきりとした絵と丁寧で正確なメカや背景の描写を特徴とした「タンタンの冒険」シリーズは、未完を含め全部で24巻。作者エルジェは1983年に亡くなっていますが、それらはコミック史上に輝く古典として半世紀たった今もなお読み継がれ、日本語を含む50以上の言語に翻訳されており、世界中の人々に夢と冒険を与え続けています。

本展は、タンタンや彼等を取り巻く愉快的サブキャラクターたちと冒険物語について、そして作者エルジェ等を紹介します。タンタンファンはもちろんのこと、物語を読んだことのない大人も子供も楽しめる内容を展開します。

タンタンの生みの親エルジェ



©HERGÉ/MOULINSART 2005



モノクロ複製本「タンタンの冒険」日本語版 表紙イラスト
上から「タンタン アメリカへ」「ファラオの葉巻」「青い蓮」「かけた耳」